

工事写真報告書

工事番号 平成 28 年度

工事名 I様邸

工事箇所 外壁・その他 塗装工事一式

工事住所 北九州市 小倉南区 朽網西

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外觀



外觀



外觀



外観

外観

破風

経年劣化しています。

劣化すると腐食、お住まいの痛みにつながりますので、下塗り・上塗りをおこないます。



軒天

経年劣化しております。

この部分は通気性の良い軒天専用の塗装をしていきます。



樋・ダクトカバー

こちらは塩ビ素材になります。

劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。



木製 ガラリ

劣化しております。

こちらも塗装をしていきます。



シャッター

この部分は鉄、スチール素材になります。劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



小庇

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



換気フード

同上



鉄部

同上

鉄部

同上



鉄部 篠木

同上





基礎 クラック部

アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。

中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながりますので、シーリング等で補修をおこないます。



基礎 クラック部

0.3mm以上のキレツは補修が必要です。



基礎

同上



基礎 クラック

同上



ガラスシーリング部

このシーリング部は露出型の為、通常のシーリング材では無く、耐久性の高いシーリング材を使用します。

塀

こちらは地面から水分を含みやすく、はき出すところですので、通気性の良い塗装をする必要があります。





屏

同上



壠

所々に膨れが見られます。

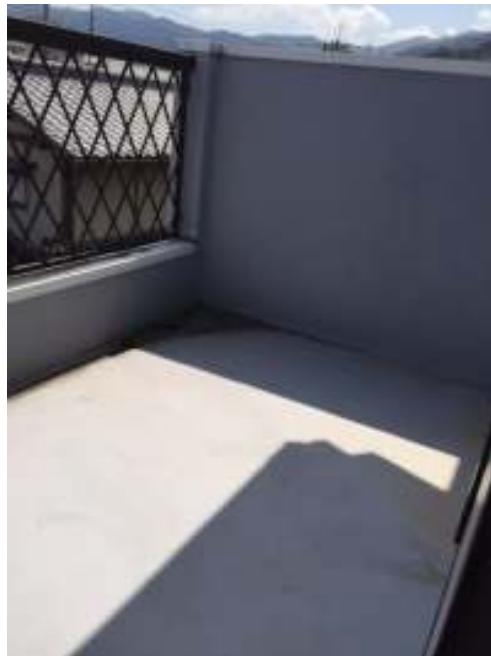
このまま塗装をしても旧塗膜から膨れる恐れがありますので、浮いている部分は除去し、ローラーによる肌合わせをして塗装をしていきます。



外壁 カビ発生部

カビの発生が見られます。

カビの上にいくら良い塗装をしても、カビの根が残っている以上塗膜を突き破って表面化してきますので、カビの根を抑える必要がありま



ベランダ

経年劣化しています。

劣化が進むと雨漏れの原因の部分にもなりますので、劣化する前の保護塗装をお勧め致します。



ベランダ

同上



ベランダ

同上



ベランダ

同上



ベランダ床 クラック部

この部分から雨水や湿気、炭酸ガス等が直接侵入し雨漏れもそうです
が、躯体・床材の痛みや建物の寿命などにもつながりますので、雨漏れする前の塗装をお勧めします。



チョーキング現象

紫外線などにより塗膜の表面が劣化し、チョークの粉状のような状態になっています。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。

外壁 膨れ

旧塗膜の剥離が見られます。

このまま塗装をしても、旧塗膜から剥がれる恐れがありますので、密着の悪い旧塗膜は除去し、ローラーによる肌合わせをおこない、塗装をしていきます。



外壁 クラック部

全体的に見られます。

この部分から雨水や湿気、炭酸ガス等が直接侵入し躯体・外壁の痛みや建物の寿命につながりますので、シーリング等で補修をおこない塗装をしていきます。



外壁 クラック部

同上





外壁 クラック部

同上



外壁 クラック部

同上



外壁 クラック部

同上



外壁 クラック部

同上



外壁 クラック部

同上

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号: 13100230

